

# 【令和5年度障害のある方の生活実態調査結果（概要版）】

## 調査の概要

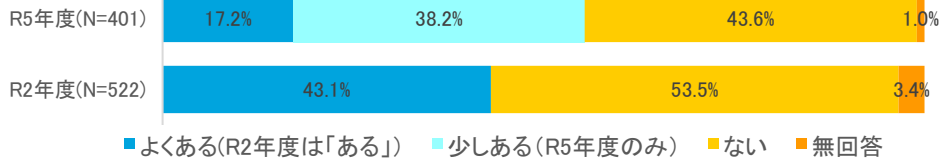
**調査目的** 次期「栃木県障害者計画」の策定や今後の障害保健福祉施策の推進に役立てるため、障害者の日常生活や困り事等について調査を実施。

**対象者** 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者及び難病患者（特定医療費（指定難病）受給者証所持者）の中から抽出した1,200人にアンケート用紙を送付。

**実施期間** 令和5(2023)年7月1日～7月21日

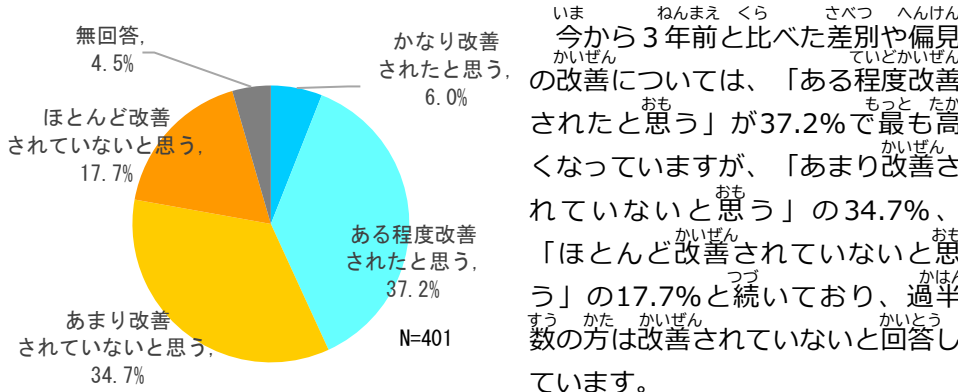
**回答数** 401人（回答率33.4%）

## 差別の有無

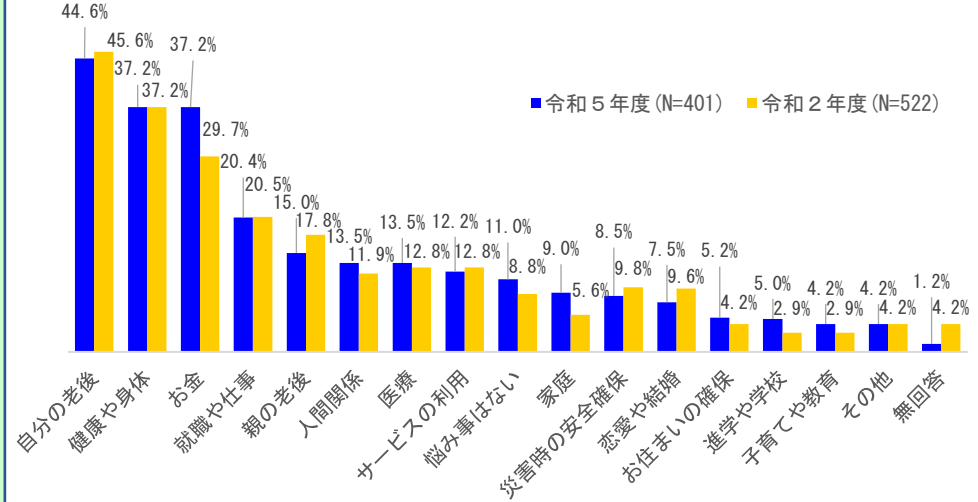


差別の有無については、「ない」が43.6%と最も高くなっていますが、「よくある」と「少しある」の割合を合計すると55.4%となり、「差別がある」が過半数を占めました。

## 差別の改善（3年前との比較）

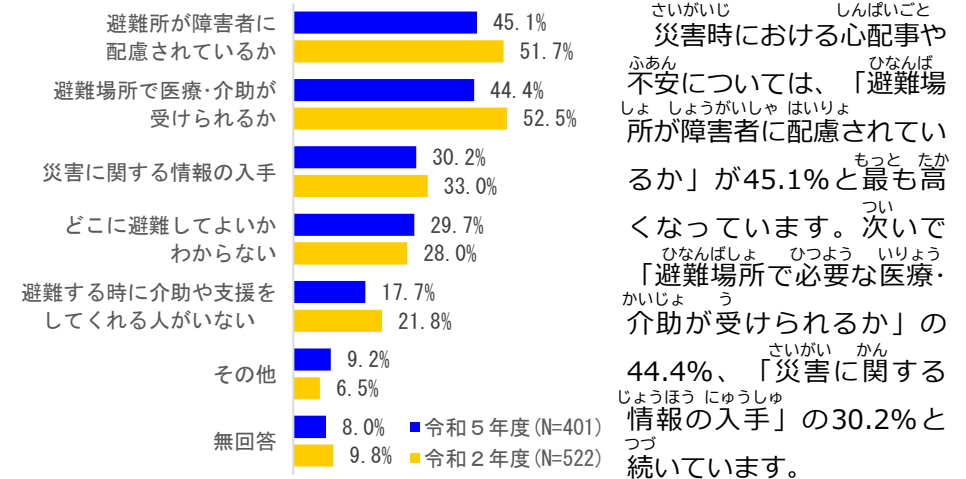


## 現在の悩み事



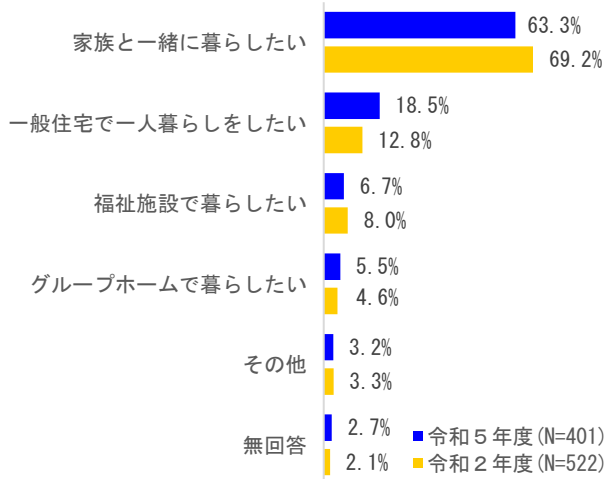
現在の悩み事については、「自分の老後のこと」が44.6%で最も高くなっています。次いで「健康や身体のこと」「お金のこと」「就職や仕事のこと」の20.4%と続いています。

## 災害時の不安



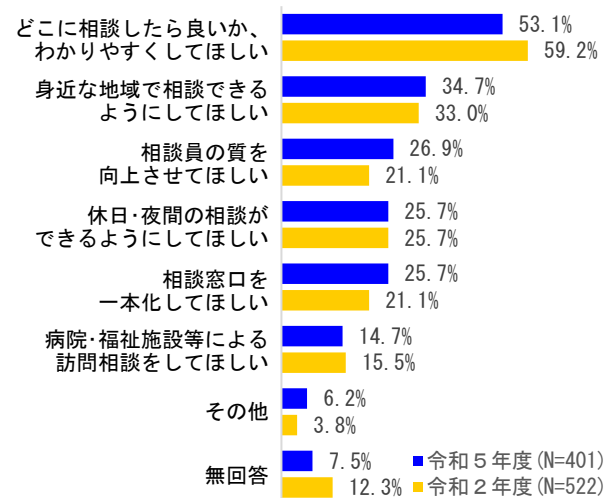
# 【令和5年度障害のある方の生活実態調査結果（概要版）】

## 今後どのように暮らしたいか



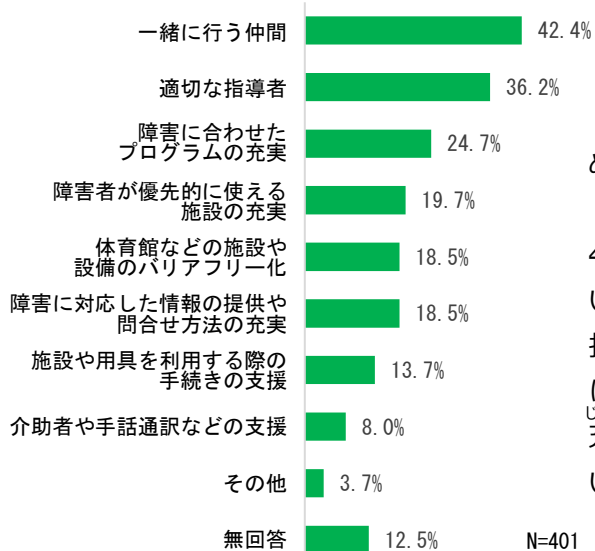
今後どのように暮らした  
いかについては、「家族と  
一緒に暮らしたい」が  
63.3%と最も高くなっ  
ています。次いで「一般住宅  
で一人暮らしをしたい」の  
18.5%、「福祉施設で  
暮らしたい」の6.7%と続  
いていきます。

## 相談支援体制に希望すること



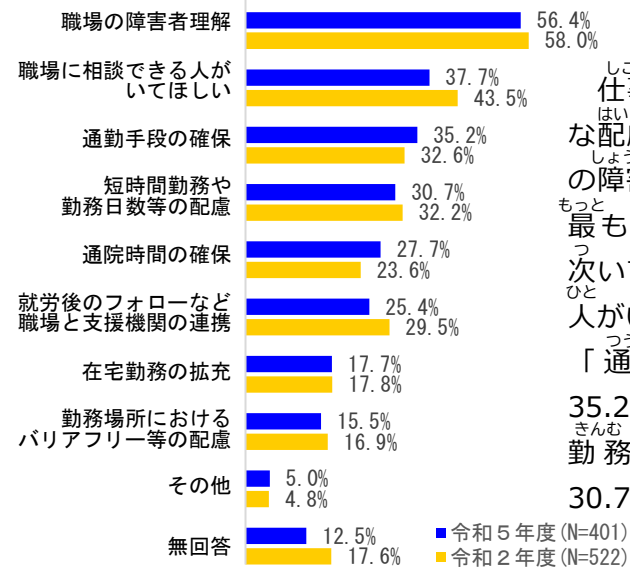
相談支援体制に希望する  
ことについては、「どこに  
相談したら良いか、わかり  
やすくしてほしい」が  
53.1%で最も高くなっ  
ています。次いで、「身近な  
地域で相談できるようにし  
てほしい」の34.7%、「相  
談員の質（知識・相談技術  
等）を向上させてほしい」  
の26.9%と続いています。

## スポーツを行うために必要な支援



スポーツや運動を行うた  
めに必要な支援については、  
「一緒に行く仲間」が  
42.4%と最も高くなっ  
ています。次いで「適切な  
指導者」の36.2%、「障害  
に合わせたプログラムの  
充実」の24.7%と続いて  
います。

## 仕事を続けるために必要な配慮



仕事を続けるために必要  
な配慮については、「職場  
の障害者理解」が56.4%と  
最も高くなっています。  
次いで「職場に相談できる  
人がいてほしい」の37.7%、  
「通勤手段の確保」の  
35.2%、「短時間勤務や  
勤務日数等の配慮」の  
30.7%と続いています。